

2010（平成 22）年度
三重大学教育学部附属教育実践総合センター
研究員・研究協力員とテーマ一覧

	氏 名	所 属	研 究 テ ー マ
1	◎ 山 田 康 彦 上 山 浩 浩 三 輪 辰 男 奥 田 二 郎	美 術 教 育 美 術 教 育 附 属 小 学 校 附 属 中 学 校	教員養成 PBL 教育シナリオの開発 — 図工・美術教育を中心に —
2	◎ 佐 藤 年 明	学 校 教 育	日本の学校教育課程に「ゆとり」は存在したのか？ — 「ゆとり教育」・『ゆとり教育』批判』言説の検証 —
3	◎ 蓮 尾 直 美	学 校 教 育	学校の組織改革にみる女性教員の役割とキャリア形成 — 学校・学級文化と教員の職業規範との関連から —
4	◎ 大 谷 正 人 * 岸 田 由 佳	特 別 支 援 教 育 三 重 県 立 度 会 特 別 支 援 学 校	特別支援教育におけるアートセラピー的アプローチの可能性
5	◎ 姉 崎 弘	特 別 支 援 教 育	教育及びセラピーとしてのスヌーズレン — 海外の調査を通じて —
6	◎ 林 未和子 * 梶 川 裕 香	家 政 教 育 鈴 鹿 市 立 平 田 野 中 学 校	構成的グループエンカウンターに関する研究（1）
7	◎ 林 未和子 * 中 川 知 美	家 政 教 育 鈴 鹿 市 立 明 生 小 学 校	小学校生活科における食育の授業実践研究（1）
8	◎ 林 未和子 * 山 本 果 林	家 政 教 育 四 日 市 市 立 常 磐 西 小 学 校	小学校家庭科における食育指導の研究（1）
9	◎ 中 村 武 弘	附 属 小 学 校	総合と教科で「調べて発表する力」を伸ばす学習環境 と単元の開発
10	◎ 下 村 勉 * 荻 田 弘 樹	教育実践総合センター 四 日 市 市 立 楠 小 学 校	思考力・表現力を高めるスクイークの活用授業の開発 と評価
11	◎ 下 村 勉 * 田 中 賢 治 * 福 島 耕 平 * 赤 塚 美 鈴 * 藤 田 裕 之	教育実践総合センター 三 重 県 立 伊 勢 工 業 高 等 学 校 鈴 鹿 市 立 国 府 小 学 校 三 重 県 立 津 高 等 学 校 三 重 県 立 津 商 業 高 等 学 校	ICT を活用した参加型学習の実践的研究
12	◎ 須曾野 仁 志 * 河 村 広 之 * 伊 藤 清 子 * 小 畑 裕 香 * 藤 田 しおり	教育実践総合センター 伊 勢 市 立 明 倫 小 学 校 松 阪 市 立 宮 前 小 学 校 松 阪 市 立 宮 前 小 学 校 津 市 立 西 が 丘 小 学 校	小学校英語活動における教材・学習ツールの開発
13	◎ 須曾野 仁 志 * 鏡 愛	教育実践総合センター 津 市 立 東 観 中 学 校	児童生徒によるデジタルストーリーテリングの制作
14	◎ 須曾野 仁 志 * 小 山 史 己	教育実践総合センター 津 市 立 西 が 丘 小 学 校	電子黒板、大型テレビ、プロジェクタ等を活用したプ レゼンテーション技法の開発
15	◎ 須曾野 仁 志 * 北 村 京 子	教育実践総合センター 三 重 県 立 度 会 特 別 支 援 学 校	特別支援教育におけるアシスティブテクノロジーの活用
16	◎ 岡 田 珠 江 * 松 本 裕 子 * 佐 田 和 美	教育実践総合センター 津 市 立 南 が 丘 小 学 校 名 張 市 立 桔 梗 が 丘 中 学 校	学級で心を育む「お絵かき遊び」の検証
17	◎ 岡 田 珠 江 * 荒 井 美 智 子	教育実践総合センター 伊 勢 市 立 小 俣 小 学 校	描画を用いた心の健康づくり — かかわりを楽しむ学級活動を通して —
18	◎ 岡 田 珠 江 * 山 田 忍 * 高 崎 順 子 * 牧 野 勢 津 子 * 北 川 睦	教育実践総合センター 伊 賀 市 立 友 生 小 学 校 鈴 鹿 市 立 教 育 研 究 所 三 重 県 立 相 可 高 等 学 校 三 重 県 立 桑 名 北 高 等 学 校	スクールカウンセリングに関する事例研究
19	◎ 岡 田 珠 江 * 前 田 起 代 栄	教育実践総合センター 津 市 立 千 里 ヶ 丘 小 学 校	未就園児の「親子貼り絵遊び（コラージュ）」の試み

◎研究代表者 *研究協力員